

ぐるり39

～自治調査会だより～

2019
2

NO. 065

[発行日]
2019.2.1



【写真提供】(一社)小金井市観光まちおこし協会 【撮影場所】野川

- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 …… 2
 - 町田市 市民協働による生きもの調査
 - 小金井市 環境配慮住宅型研修施設
 - 大島町 地域に花を咲かせる事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・第 26 回 TAMA とことん討論会 参加者募集 …… 3
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 2・3 月開催予定の講座案内 …… 4
 - ・東京雑学大学 3 月講義案内 …… 4
 - ・会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のお願い …… 5
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 …… 5
 - 第 7 回 TOKYO シャンソンフェスティバル
- ▶ パラバドミントン選手 山崎悠麻さんを紹介します② …… 6
- ▶ 編集後記 …… 7
- ▶ とっておきフォトスポット～小金井市～ …… 8

Contents

2月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



かれん

シーナ

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

1 町田市

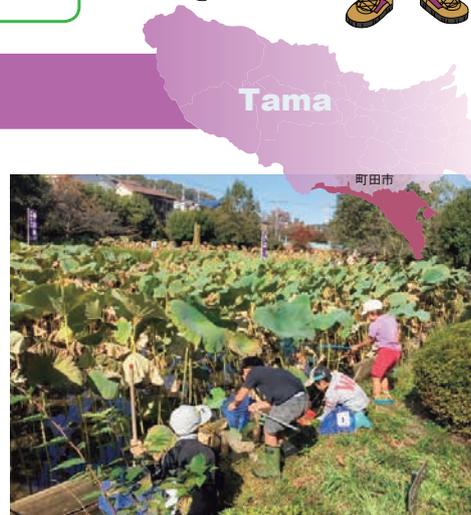
市民協働による生きもの調査

町田市では、生きものの情報の蓄積と、市民に生きものや自然に親しみを持ってもらうために、市民協働による生きもの調査を行っています。

2014年度から実施しているセミの鳴き声調査は、今年度も多くの小学生以上の市民にサポーターとして協力していただくことで実施できました。

また、今年度は町田市内の薬師池公園を利用して、小学生以下を対象とした水辺の生きもの調査を行いました。仕掛けたかご罟を講師と一緒に引き上げたり、網を使ってモツゴやクロダハゼなどを採取したりと、楽しく調査ができました。写真は、当日、生きものを採取している様子です。

【問合せ先】町田市 環境・自然共生課 TEL 042-724-4391



2 小金井市

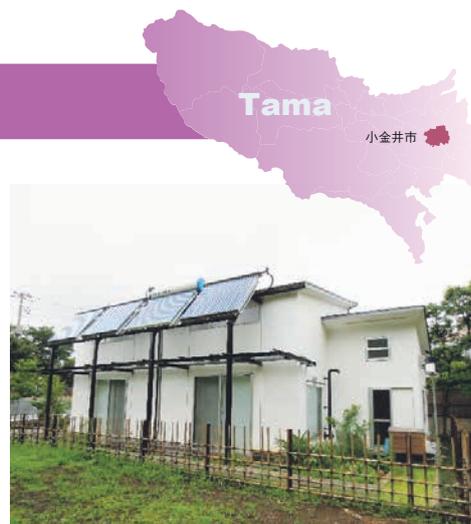
環境配慮住宅型研修施設

小金井市環境配慮住宅型研修施設（愛称・環境楽習館）を紹介します。

「平成23年度東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助金」を活用し建設された当施設は、身近な自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るモデル住宅として建設されました。市民・事業者・教育機関と協働し、地域をあげて地球温暖化防止に取り組むため、環境に関する情報を発信するとともに環境学習の場を提供し、市民活動の活性化、人材の育成及び環境学習を推進する場となっています。

ぜひ一度ご来館いただき、自然の力を感じてください。

【問合せ先】小金井市 環境政策課 TEL 042-387-9817



3 大島町

地域に花を咲かせる事業

大島町では、花と緑にあふれたまちづくりをめざし、町内各地域で活動している婦人会の協力により、それぞれの地域の主要道路沿いの花壇や空き地などを利用し、彩り鮮やかな花を植えて育てています。

地域で自分たちの手による活動を行うことで、自然を育み愛でる気持ちの醸成や地域コミュニティの活性化、さらには温暖化防止について考えるきっかけとなることが期待されます。

【問合せ先】大島町 政策推進課 TEL 04992-2-1444





多摩交流センターだより

第26回

TAMA

とことん

討 論 会

参加者
募集

多摩地域のごみ量は全国的にも少なく、長くトップクラスを維持しています。そこで、次へのステップとして、ごみの量だけではなく、質的な向上を図っていくために「ごみ減量を目的とした分別や資源回収」から「資源として有効活用するためのごみの分別」に意識転換していきましょう。

まず、その一歩として、回収された資源のゆくえ、収集後のごみから選別される資源に関する情報を整理し、日頃何気なく使っている製品の生産から廃棄後までを意識できるライフスタイルを考えてみたいと思います。

また、回収した資源のゆくえに関する情報発信や啓発について調査を行い、その内容を資料の一つとして当日配布します。

- テーマ** 私が出した「資源」は何処へ
- 日時** 平成31年3月16日(土) 12:00開場 12:30~17:30 (終了時間は多少前後することがあります。)
- 会場** アウラホール (京王線聖蹟桜ヶ丘駅 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA館6F)
- 参加費** 500円(資料代・ワークショップ茶菓代) 当日お支払いください。
- 主催** 第26回TAMAとことん討論会実行委員会
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦、公益財団法人東京市町村自治調査会)
- 後援** 東京都 東京都市長会 東京都町村会 多摩市 公益社団法人東京都リサイクル事業協会
一般社団法人廃棄物資源循環学会
- 内容** 以下のとおり(詳細は<http://www.renpou.org/>)

開会のあいさつ

調査報告

「資源のゆくえ」に関する情報発信・啓発に関する調査
江尻 京子(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

リレー講演

- ・古紙: 上田晴健(東京都製紙原料協同組合常務理事)
- ・びん(リユース): 戸部 昇(東京包装容器リサイクル協同組合理事長)
- ・びん(リサイクル): 菅澤太二(東京硝子原料問屋協同組合代表理事)
- ・金属・小型家電: 永田博孝(港区リサイクル事業協同組合理事長)
- ・古繊維・古着: 内田 長(関東古繊維協会)
- ・プラスチック: 鈴木雅夫(プラスチック循環利用協会)

ワークショップ

&

全体討論

コーディネーター
山本 耕平
(ダイナックス都市
環境研究所所長)

閉会のあいさつ

お茶とお菓子でリラックス
しながら語りましょう



▲昨年のワークショップの様子

(敬称省略)

参加方法

当日参加もできますが、可能な限り事前申込にご協力ください。なお、3月8日(金)までに事前申込をし、当日討論会に参加した方(先着50名)には、参加記念品を差し上げます。詳細は返送する参加票をご覧ください。

※事前申込の方法 住所、氏名、電話番号、所属をメールまたはFAX、ハガキで事務局まで送ってください。

問合せ・申込み先

第26回TAMAとことん討論会実行委員会事務局(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内)
〒206-0011 多摩市関戸1-11-7 グリービル602号 TEL 090-3818-7006 FAX 042-400-0096
E-mail tama.recycle@gmail.com ※問合せは可能な限りメールでお願いします。



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



平成31年2月・3月開催予定の講座案内

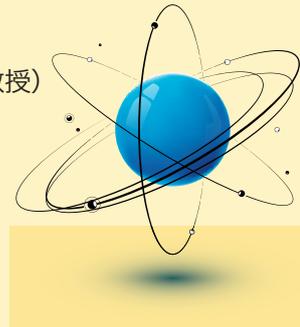
180回

題名 元素の物語

日時 平成31年2月14日(木) 14:30から約1時間

講師 片田 元己 氏(いなぎICカレッジ理事長・東京都立大学・首都大学東京名誉教授)

内容 世の中のすべての物質は多くの原子が集まってできています。それらの原子は100余種の元素に分類することができます。元素の多くは、宇宙の壮大な営みの中で合成され、地球の誕生とともに存在していますが、その性質や利用のされ方は、かなり異なっています。私たちの身のまわりにある元素を中心に、元素の世界の不思議さ、面白さなどについて紹介します。



- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

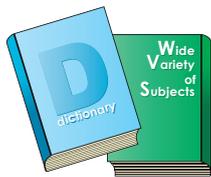
問合せ先 TEL 070-2685-3602 (高原) TEL 0422-52-0908 (菅原)

題名 映画と音楽

181回

日時 平成31年3月14日(木) 14:30から約1時間

講師 島倉 繁夫 氏(メディアプランナー)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成31年3月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は3月14日を除き、1回500円)

| 番号 | 日時 | 講義テーマ | 教授 | 教場 |
|-------------|---------------------|---------------------------|---|--|
| 第1170回 | 3月7日(木) 14:00から | 樋口一葉『たけくらべ』の世界 | 岡野 幸江 氏 (法政大学講師) | 田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分) |
| 第1171回 ※ | 3月14日(木) 14:30から | 映画と音楽 | 島倉 繁夫 氏 (メディアプランナー) | 遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分) |
| 第1172回 | 3月28日(木) 14:00から | 自分史『充実と変化の中に生きて』 を出版して | 岩間 愛 氏 (「ふだん記」グループ会員・国内地理検定2級・ 多摩武蔵野検定2級保持) | 前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩10分 小金井市役所向い) |

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1171回は、第181回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

訂正：本紙1月号(No64)の5ページで案内した「東京雑学大学」を訂正いたします。
2月21日(木) 教場 西東京市民会館(変更なし)
2月28日(木) 田無駅南口 徒歩8分→田無駅北口 徒歩8分
(誤) (正)

問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のお願い

会議室利用登録の更新について

多摩交流センター会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日までです。登録の更新を希望する場合、所定の書類を提出していただいております。該当する団体には更新のご案内を通知しますので、期日内に必ずご提出ください。

ロッカー・棚の貸出について

会議室利用登録団体貸出しロッカー・棚の利用期限は、毎年3月31日までです。現在利用している団体は期日までにロッカー・棚の荷物を引き上げてください。また、平成31年度の利用を希望する団体は所定の書類をご提出ください。

貸出団体及びご利用いただくロッカー・棚の場所は、抽選で決定します。

忘れ物・落とし物について

会議室や印刷室等での様々な忘れ物・落とし物をお預かりしています。心当たりのある方は事務室までお問合せください。また、会議室利用後は忘れ物・落とし物がないか、必ずご確認ください。

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第7回TOKYOシャンソンフェスティバル

- 日 時** 平成31年3月4日（月）開演13:00
3月5日（火）昼の部・開演12:30
夜の部・開演17:00
- ※開場はいずれも開演30分前
- 場 所** 調布市文化会館たづくり・くすのきホール
(京王線調布駅下車 徒歩3分)
- 内 容** 大人の情感にしみじみと寄り添う「シャンソンの祭典」
4日（月）は、シャンソンを愛好する公募出演者による歌の競演
5日（火）第1部は朗読と歌による「シャンソンドラマ」、第2部は若林ケン氏、岸本悟明氏他シャンソン歌手15名が出演し、シャンソンの神髄を歌い上げます。
- 入場料** 2,500円 (2日間通し券)
- 主 催** TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会 (TCF)
- 問合せ** TCF事務局
TEL 090-9643-6030 (後藤)
E-mail mumink@ezweb.ne.jp



「多摩交流センターだより」の問合せ先

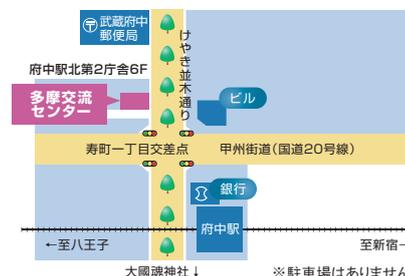
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



パラバドミントン選手 山崎悠麻さんを紹介します②

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が来年に迫っています。パラスポーツにはまだ知られていない魅力がたくさんあります。当調査会では、多摩・島しょ地域におけるパラリンピックをより一層盛り上げるため、パラバドミントン選手である山崎悠麻さん(日野市在住)を1・2月号の2回にわたってご紹介します。

前号では、山崎さんがパラバドミントンを始めたきっかけや、競技の魅力等をご紹介しました。本号では、普段の練習内容や、今後の意気込み等をご紹介します。



【プロフィール】 やまざき ゆ ま 山崎悠麻さん

1988年生まれ。日野市在住。NTT都市開発株式会社所属。夫、子ども2人(6歳、4歳)と4人家族。

2018年7月 タイパラバドミントンインターナショナル
シングルス・混合ダブルス優勝
女子ダブルス準優勝

2018年9月 ヒューリック・ダイハツJAPAN
パラバドミントン国際大会(東京都町田市)
シングルス・女子ダブルス・混合ダブルス優勝

2018年10月 インドネシア2018アジアパラ競技大会
シングルス・混合ダブルス3位

Q 普段の練習場所や練習内容を教えてください。

A 日野市の体育館で練習することが多いです。調布市や立川市、多摩市に行くこともあります。また、江戸川区にある日本障がい者バドミントン連盟のパラバドミントン専用体育館でも定期的に練習しています。練習内容は、主に体づくりとバドミントンの技術向上です。試合形式の練習は週1日行っています。その他には、1回1時間半ほどウエイトや体幹トレーニングなどを行い、体を鍛えています。昨年は体を鍛えることをメインに行っていましたが、今年はダブルスの練習を増やして、コンビネーション技術を向上していきたいと考えています。

車いすバドミントンでは、コート内で前後に素早く移動することが重要です。コーチとマンツーマンで、ショットの精度やチェアワークを磨き、2時間半ほど練習することもあります。

Q 練習中や大会期間中に気を付けていることはありますか。

A 体調管理に気を付けています。特に怪我防止のため、トレーニングをし過ぎないことを心がけています。

以前、手を誤ってぶつけてしまい、車いすをこげなくなってしまったこともありました。そのため、普段から怪我には特に注意しています。

また、海外に行くと様々な食べ物があるため、体調面を考えて、食べられるかどうかを判断しなくてはなりません。そのため、いつもと同じ食事ができるよう、お米等の慣れた食材を持って行くようにしています。

Q 多摩地域でお気に入りの場所がありますか。

A 家の近くに浅川があるので、よく子どもと河川敷を散歩しています。昭和記念公園(立川市・昭島市)や神代植物公園(調布市)、多摩動物公園(日野市)に家族で行くこともあります。

Q ご家庭と仕事をどのように両立していますか。

A 朝、保育園に子どもを預けたあと、車で仕事や練習に向かっています。2017年には競技に専念するため、調布市役所からNTT都市開発株式会社に転職し、ダイバーシティ推進室に所属しています。千代田区にある職場には週に1日出社し、活動状況等を報告しています。

国内外での大会や国内合宿のため、自宅を離れることも多いので、その時は両親やベビーシッターに子どもの世話を願っています。また、会社の在宅勤務制度を利用して、テレワークで練習前後の時間を有効に使っています。ほかにも、休日に試合があった際は、平日に代休を取得し、家族と過ごす時間や休養に充てています。



▲職場での様子

Q パラスポーツの施策で、自治体に期待することはありますか。

A 練習場所の確保に悩んでいます。練習場所を探す時、インターネットを使うことが多いので、体育館の予約状況や、車いすが利用可能であるか等が分かると探しやすいと思います。今は、電話で問い合わせたり、直接体育館へ出向いて確認したりしています。

また、車いすを使う競技は転倒により床に傷が付くこともあるため、車いすを使うことに難色を示されることがあります。ただ、車いすバドミントンは転倒しにくい競技であるだけでなく、転倒ないように車いすにも工夫がされています。使用できないこともあると理解はしていますが、こういった知識もより広まると嬉しいです。競技によって使用可否が異なる体育館もあるため、競技ごとの使用可否をWEBサイトに掲載していただけたらもっと使いやすくなるかなと思います。

Q スポーツをしている子どもたちに向けてメッセージはありますか。

A 競技の成績だけを追求するのではなく、自分の中に目標を設定し、それをクリアしていくことを楽しんでほしいと思います。私が中学生の頃は、バドミントンを部活としてやっていて、楽しむほどの余裕がありませんでした。そのときの基礎があるからこそ今があるとも言えますが、子どもたちには、スポーツの楽しさを感じながら競技に臨んでほしいと思っています。

Q 最後に、2020年の東京パラリンピックに向けての意気込みを聞かせてください。

A 今年は、パラリンピックの代表選考の年になります。2019年の一つの大会を大切にしていきたいです。また、目標はパラリンピックに出場することだけでなく、メダルを取ることです。そのために、これからも練習に励んでいきたいと思っています。

競技活動と、さらには仕事に育児とお忙しい中、笑顔でインタビューに応じてくださいました。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の出場に向けて、山崎選手をみんなで応援しましょう！

【パラバドミントンについての問い合わせ先】

一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟事務局
TEL 03-6808-5515 Email office@jpbpf.jp
ホームページ <http://jpbpf.jp/>



▲これまでの大会で獲得したメダル等の陳列棚



編集後記

- 最近、ニュースでプラスチックごみに関する話題がよく取り上げられています。レジ袋の有料化や外食産業などにおけるプラスチック製ストローの廃止、また、プラスチックごみやマイクロプラスチックによる海洋汚染などの問題などです。
- プラスチックは金属や陶磁器に比べて重量も軽く、プラスチック製の包装容器は食品などの常温での長期保存を可能にするなど使い勝手に優れています。こうした特性により、輸送コストの軽減や品質保持のためのエネルギーの節約など、環境負荷の低減やエネルギー消費の抑制に貢献しています。
- しかし、プラスチック製品には、複合素材が使われているものや汚れがとれない包装容器など、再利用等が難しいものも少なくありません。
- 我が国では、プラスチックごみ全体の排出量は、毎年1,000万トンを下回り、横ばい状態にあります。その中でプラスチックごみの有効利用率は8割を超え、世界のトップクラスの水準にあります。
- 一方、今後世界の総人口が増加することを考えると、地球全体では再利用されないプラスチッ

クごみが増加し、地球環境に大きな影響を与える可能性があります。これからも引き続き、私たちの日々の生活の中で、利用や廃棄の方法を工夫していくとともに国レベルでの検討が必要ではないでしょうか。

- こうした中、当調査会の多摩交流センターは東京・多摩リサイクル市民連邦と共催で、ごみ問題について多摩地域の市民の方々が一同に会して討論や情報交換を行う「TAMAとことん討論会」を毎年実施しています。

3月には、『私が出した「資源」はどこへ』と題して26回目の討論会を多摩市のアウラホールで開催します（詳細は本誌3ページ参照）。

プラスチックごみの問題をはじめ、ごみに関して、今何が課題となっているのか、今後どうしていくべきかなどを知るための良い機会になると思います。

当日は、リレー講演やワークショップを実施します。初めて参加する方でもリラックスした雰囲気の中で意見交換等が行えます。是非会場に足をお運びください。(S.K)

とっておきフォトスポット

第14回 小金井市

きれいな景色やおもしろいものをみつけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「江戸東京たてもの園」と「小金井公園の桜」を紹介するよ。



江戸東京たてもの園

@WATAGE



江戸東京たてもの園では、文化的価値の高い歴史的建造物を展示しているよ。写真は、明治時代の洋館「デ・ラランデ邸」。新宿区の信濃町に建てていたよ。園内にはほかにも、江戸時代から戦後までのたくさんの建物があ、建物内部にはそれぞれの時代の生活やお店の様子が再現され、タイムスリップしたかのような写真が撮れるよ。

撮影のPOINT!

- 季節ごとに開催されるさまざまなイベントでも、風情のある写真が撮れるよ。イベントについては、事前にスケジュールを確認してね。



小金井公園の桜

@WATAGE



小金井公園の江戸東京たてもの園前広場には約150本のソメイヨシノがあるよ。毎年春に開催される小金井桜まつりでは、ステージで音楽の演奏やダンスなどのパフォーマンスが行われ、地元グルメなどの屋台もたくさん出るよ。満開の桜の写真を撮りに行ってね。

撮影のPOINT!

- 小金井公園には、ソメイヨシノの他にも50種類もの桜が植えられているよ。秋や冬に咲く桜もあるから、見に行ってみてね。



[現地案内]

←◆都立野川公園

西武多摩川線「新小金井」駅または「多磨」駅から徒歩15分。

◆江戸東京たてもの園・小金井公園→

JR中央線「武蔵小金井」駅から2番乗り場から西武バスの武12(御成橋経由東久留米駅行)／武13(清瀬駅南口行)または、3番乗り場から西武バスの武21(錦城高校経由東久留米駅行)／武15(滝山営業所行)で、「小金井公園西口」下車。徒歩5分。4番乗り場から関東バスの鷹33(三鷹駅・武蔵野営業所行)で、「江戸東京たてもの園前」下車。徒歩3分。

[情報・写真提供] 小金井市市民部経済課 TEL 042-387-9831
(一社)小金井市観光まちおこし協会 TEL 042-316-3980



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

【発行日】平成31年2月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。